

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
音楽	音楽 I	2	1	高校生の音楽 1	自主教材プリント

到達目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的な授業への参加を重視する。 幅広いジャンルの音楽に触れるよう様々な楽曲に取り組む。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	校歌 ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> 詩の内容を理解し自校を愛好する心情を養う。 読譜の力をつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業への積極性、取り組み方など。
5月	ポピュラーソング	<ul style="list-style-type: none"> 歌う事の楽しさを感じ取らせる。 視唱力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫、声量など。
6月	和楽器、箏 器楽①	<ul style="list-style-type: none"> 箏の歴史、特徴、奏法などを学習させる。 ギターにおける、最も基本的なコードを覚え、奏法を学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み姿勢、感想文など。 運指、リズム、表現の工夫など。
7月	器楽②	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの奏法と基本的な運指を練習させる。 視奏力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 運指、リズム、表現の工夫など。
8月			
9月	世界の歌①イタリア編 器楽③ 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 呼吸法、共鳴、口形など発声の基本を学習させる。 新しい運指を学習させ作品について内容を把握させる。 我が国の伝統音楽の種類と特徴を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声、発音、声量など。 運指、リズム、表現の工夫など。 取り組み姿勢、感想文など。
10月	合唱	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすい曲でハーモニーを感じながら歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> バランスを考えての表現など。
11月	器楽④	<ul style="list-style-type: none"> ギター、リコーダーを交えた簡単なアンサンブル活動を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> 奏法、音色、表現の工夫など
12月			
1月	世界の歌②ドイツ編 日本の民謡編	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞及び曲想を把握させる。 郷土の音楽や伝統芸能について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現や発声の工夫など。
2月	器楽⑤	<ul style="list-style-type: none"> アンサンブル活動を通して楽器の奏法をさらに探究し、バランスのとり方や表現方法などを学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 奏法、音色、バランス、表現の工夫など。
3月			

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
音楽	音楽Ⅱ	2	2	高校生の音楽2	自主教材プリント

到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的な授業への参加を重視する。 様々な音楽をその歴史、文化とともに学習することで国際理解への関心を高める。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	日本の歌曲	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞及び曲想を把握させ表現を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現や発声の工夫など。
5月	器楽① 鑑賞①オペラ	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの奏法を学習させ、楽曲の背景などもイメージしながら演奏する技能を身に付けさせる。 オペラの歴史について学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫など。 感想文など
6月	和楽器、箏 ポピュラーソング	<ul style="list-style-type: none"> 箏の歴史、奏法などを学習させる。 曲に合った発声や表現を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想文など。 表現の工夫など。
7月	世界の歌① オペラ編 フランス編	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞や曲想について理解させ、どのように表現すればよいか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発声、発音、表現、声量など。
8月			
9月	器楽② 創作①	<ul style="list-style-type: none"> アンサンブル活動を通して他のパートとの関連を図りながら、楽器の音色や奏法の特徴に応じた様々な表現方法を考えさせる。 創作を行うための基礎的な事柄について学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> バランス、表現の工夫など 取り組み姿勢、感想文など。
10月	器楽③ 創作②	<ul style="list-style-type: none"> 音階や楽曲を演奏する。 旋律創作で表現方法を学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫など 感想文など。
11月	合唱 鑑賞②	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞及び曲想を理解させた上で、合唱における様々な表現を考えさせる。 楽器の特性と表現上の効果や、楽曲の歴史的を学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自のパートの正確さ、全体のバランスを考えての表現など。
12月			
1月	世界の歌② 民謡編	<ul style="list-style-type: none"> 諸民族の楽器や声の音色から、その音楽の特徴を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現や発声の工夫など。
2月	器楽④	<ul style="list-style-type: none"> ギターを含むリコーダーの合奏曲を通し、各パートの役割と相互の調和を考えた表現を工夫させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 奏法、音色、バランス、表現の工夫など。
3月			

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
音楽	音楽Ⅲ	2	3	Joy of Music	The Basics of Music

到達目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。
到達目標に向けての具体的な取組（指導上の留意点）	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体的な授業への参加を重視する。 様々な音楽に少しでも深く関わる事によって、生徒自身の関心、興味を広げ生涯学習につなげる契機とする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	ポピュラーソング	・歌う事の楽しさを感じ取らせる。	・発声の工夫など。
5月	合唱①	・合唱における発声方法学習させ、親しみやすい曲でハーモニーを感じながら歌う。	・全体のバランスを考えての表現など。
	鑑賞①	・オペラの背景について学習させる。	・感想文など
6月	和楽器、箏 器楽①	・箏の歴史、奏法などを学習させる。 ・鍵盤楽器の基本的な奏法について学習させる。	・運指、リズム、表現の工夫など。
7月	器楽②	・鍵盤楽器の奏法について学習させ、曲に合った表現を考えさせる。	・運指、リズム、表現の工夫など。
	鑑賞②	・バレエの背景について学習させる	・感想文など。
8月	アンサンブル①	・ボディパーカッションを体験する。	・取り組み姿勢、感想文など。
9月	合唱②	・歌詞及び曲想を理解させた上で、合唱における様々な表現を考えさせる。	・各自のパートの正確さ、全体のバランスを考えての表現など。
	創作①	・創作を行なうための事柄について学習させる。	・感想文など。
10月	アンサンブル②	・鍵盤楽器によるアンサンブル活動を通して、各パートの役割と相互の調和を考えた表現を工夫させる。	・奏法、音色、バランス、表現の工夫など。
	器楽③	・ピアノの基礎知識の学習と演奏。	・表現の工夫など。
11月	創作②	・曲のリズムやコードを工夫させる。	・感想文など。
	鑑賞③	・ピアノの背景について学習させる	・感想文など。
12月			
1月	アンサンブル③	・音楽の組み立てや表現方法を考えながら、相互の調和を考えた表現を工夫させる。	・バランスを考えての表現、取り組み姿勢、感想文など。
2月			
3月			

